

出雲市多文化共生のまちづくり事業研修会

たぶん か きょう せい

多文化共生の 地域づくり

申込不要
入場無料

出雲市内で、さまざまな文化や言語をもつ人が増えています。同じ地域で暮らすために、私たちにできることは何でしょうか。他のまちの事例などから、身近な取り組みを考えてみましょう。

1 月 29 日 日 10:00～12:00

平田文化館 (平田町2112-1)

全国で広がる「やさしい日本語」で伝える取り組み

講師: 土井 佳彦さん

(NPO多文化共生リソースセンター東海代表理事)



ふつうの日本語よりも簡単で、外国人にも分かりやすいと全国で注目の「やさしい日本語」の具体例を聞き、使ってみましょう。



「やさしい日本語」とは？

→説明はウラを見てください。

※託児サービスもあります。希望する人は、事前に申し込みをしてください。

出雲市国際交流室 電話(0853)21-6576 メール:kokusai@city.izumo.shimane.jp

主催: 出雲市(政策企画課国際交流室)

多文化共生の地域づくり 内容紹介

1/29

全国で広がる

日

「やさしい日本語」で伝える取り組み



「やさしい日本語」とは？

- 阪神淡路大震災をきっかけに考え出されました。
- ポイントを押さえれば、だれでも使うことができます。
- 分かりやすい日本語になるので、外国人だけでなく、子ども、高齢者、障がい者のみなさんなどへのコミュニケーション手段にも役立ちます。
- 急いで情報を伝える必要がある時や、自治会(町内会)からのお知らせ、学校からの便り、窓口での接客などに利用できます。

講師プロフィール

広島市生まれ。大学で日本語教育を学び、卒業後、留学生や技術研修生らを対象とした日本語教育に従事。同時に、地域日本語教室にもボランティアとして参加。

2008年、「多文化共生リソースセンター東海」の立ち上げに参画し、翌年の法人格取得とともに代表理事に就任。

東日本大震災の発生直後に設立された「東北地方太平洋沖地震多言語支援センター」ではセンター長として約2ヶ月にわたり、各種情報の収集・提供等の陣頭指揮を執った。